

# 2023年3月期 決算説明

2023年5月12日  
いすゞ自動車株式会社

## 説明内容

1. 全体総括
2. 中期経営計画 進捗状況
3. 2023年3月期実績
4. 2024年3月期見通し

本資料における記述のうち、過去又は現在の事実に関するものを除いては、現時点で入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定及び判断に基づくものです。従いまして、かかる仮定及び判断に含まれる不確定要素や将来の経済環境の変化などを含む種々の要因によって影響を受ける可能性があり、ゆえに、当社の将来の業績、経営結果等と異なる結果をもたらす可能性があります。

# 1. 全体総括

## 1. '23年3月期実績

- VOLは、部品不足の改善が進み、CV・LCV共に増加。  
損益は、資材費・物流費の高騰あるも、VOL増加、円安進行及び価格対応により増益。
- 2月公表時に対しては、車両の出荷増、堅調なアフターセールス、追加の価格対応及び費用減により増益。

## 2. '24年3月期見通し

- CVは、部品不足が改善する国内及び北米向けが増加。ただし、アセアン中心にインフレ・金利上昇のマイナス影響を見込む市場もあり。
- LCVは、タイ国内向けの需要減を見込む。一方、輸出は拡大するも生産制約あり。
- 損益見通しは、更なる資材費及びエネルギーコストの上昇あるも、VOLMIX改善、価格対応及び合理化推進により、営業利益2,600億円を目指す。

山口でございます。

まずは全体を総括して説明いたします。

23年3月期は、部品不足の改善が進んだことで、CV・LCVともに販売台数が増加しました。

2月に公表した見通しに対しては、出荷台数が上回ったことに加え、堅実なアフターセールスによる収益、追加の価格対応及び費用の減少により、増益となりました。

24年3月期は、CVは部品不足が改善する国内及び北米向けの販売台数の増加を見込む一方、アセアンを中心とした一部の市場では、インフレ及び金利上昇によるマイナス影響を見込みます。LCVはタイ国内向けの需要減を見込みます。輸出は増加するものの、生産制約の影響を受ける見通しです。

損益につきましては、資材費・エネルギーコストの更なる上昇はありますが、VOLMIXの改善、価格対応及び合理化推進により、過去最高の営業利益2,600億円を目指します。

## 全体総括 '23年3月期実績

グローバル販売台数(千台)		'23/3期	'22/3期	対前年比増減		'23/3期見通し (2月公表時)
CV計	国内CV	67	*65	+2	+4%	69
	海外CV	287	*278	+9	+3%	281
		354	*343	+11	+3%	350
LCV計	タイLCV	202	173	+29	+17%	206
	輸出LCV	215	205	+10	+5%	218
		417	378	+39	+10%	424
合計		771	721	+50	+7%	774

## 決算実績(億円)

\*22/3期：4-6月UDトラック販売台数含む（国内CV+2千台、海外CV+2千台、CV計4千台）

売上高	*31,955	25,143	*+6,812	+27%	31,000
営業利益	2,535	1,872	+663	+35%	2,300
経常利益	2,699	2,084	+615	+30%	2,450
当期利益	1,517	1,262	+255	+20%	1,400
1株当たり配当	79円	66円	+13円		72円

\*UDトラック取り込みによる売上高影響：+793億円

Copyright(C) 2023 Isuzu Motors Limited All rights reserved

23年3月期実績の全体総括です。

グローバル販売台数は、部品不足の改善を受け、CV・LCVともに22年3月期を上回りました。

損益につきましては、記載の通りです。

期末配当は、当期利益が見通しを上回ったため、従来予想額の36円から7円増となる、1株当たり43円といたします。中間配当を加えた年間配当額は、1株当たり79円となります。

## 全体総括 '24年3月期見通し

グローバル販売台数(千台)		'24/3期	'23/3期	対前年同期比	
CV計	国内CV	90	67	+23	+33%
	海外CV	275	287	▲12	▲4%
		365	354	+11	+3%
LCV計	タイLCV	181	202	▲21	▲10%
	輸出LCV	224	215	+9	+4%
		405	417	▲12	▲3%
合計		770	771	▲1	▲0%

## 決算見通し(億円)

売上高	33,000	31,955	+1,045	+3%
営業利益	2,600	2,535	+65	+3%
経常利益	2,750	2,699	+51	+2%
当期利益	1,550	1,517	+33	+2%
1株当たり配当	80円	79円	+1円	

続いて、24年3月期の販売台数と損益の見通しです。

グローバル販売台数は、CVが増加する一方、LCVが減少し、全体としては23年3月期並の販売台数を見込みます。

損益につきましては、記載の通りです。

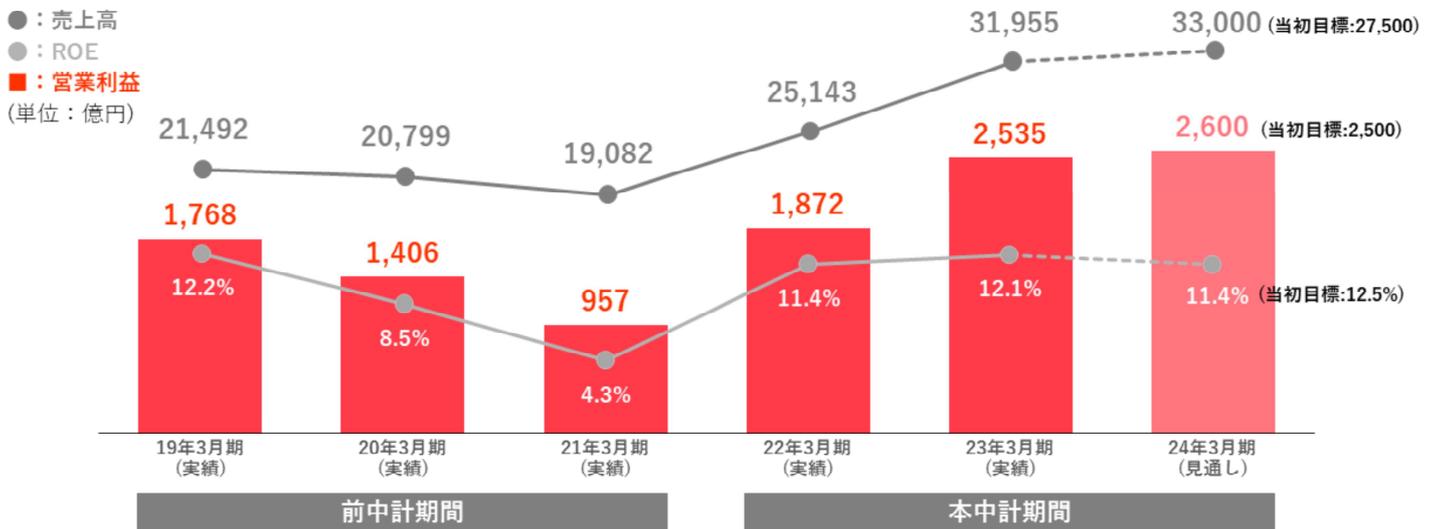
配当は、23年3月期から1円増となる年間80円を予定いたします。

## 2. 中期経営計画 進捗状況

続きまして、中期経営計画の進捗状況をご説明いたします。

## 本中計期間の業績推移

- 2021年5月の中計発表時から事業環境は大きく変化。資材費・物流費・エネルギーコストは歴史的な水準に高騰する一方、為替は大幅に円安が進行。
- 損益については、価格対応・合理化活動に取り組むことで、中計策定時に掲げた定量目標の達成を目指す。
- ROE目標（24/3期：12.5%）については、更なる増益により達成を目指す。



本中計期間の業績推移になります。

2021年の中計発表時から事業環境は大きく変化し、資材費、物流費、エネルギーコストは歴史的な水準に高騰する一方、為替は円安が大幅に進行しました。

中計最終年度となる今期についても、損益は、価格対応及び合理化活動に取り組むことで、中計策定時に掲げた定量目標の達成を目指します。

ROEについては、現時点の見通しでは、中計目標の12.5%に届いていないものの、更なる増益によって達成を目指します。同時に、自社株買いについても、引き続き検討を続けてまいります。

## (附表)販売台数 / 財務指標

販売台数(千台)	中計期間				
	'21/3期 実績	'22/3期 実績	'23/3期 実績	'24/3期 目標 見通し	
国内CV	70	65	67	78	90
海外CV	190	278	287	281	275
LCV	295	378	417	448	405
産業用エンジン	138	142	116	145	139
うちUDトラックスの台数(千台)					
国内CV	-	8	9	8	10
海外CV	-	10	11	9	10
投資/財務(億円)	'21/3期 実績	'22/3期 実績	'23/3期 実績	'24/3期 目標 見通し	
開発費	910	1,048	1,190	1,150	1,250
設備投資	698	784	822	1,000	1,400
有利子負債(リース関連除く)	1,124	3,174	2,411	2,600	2,300
自己資本比率	46%	42%	43%	48%	44%

本中計期間の販売台数及び財務指標の推移は記載の通りです。

開発費及び設備投資については、イノベーション投資450億円を含め、合計で2,650億円を見込んでおります。

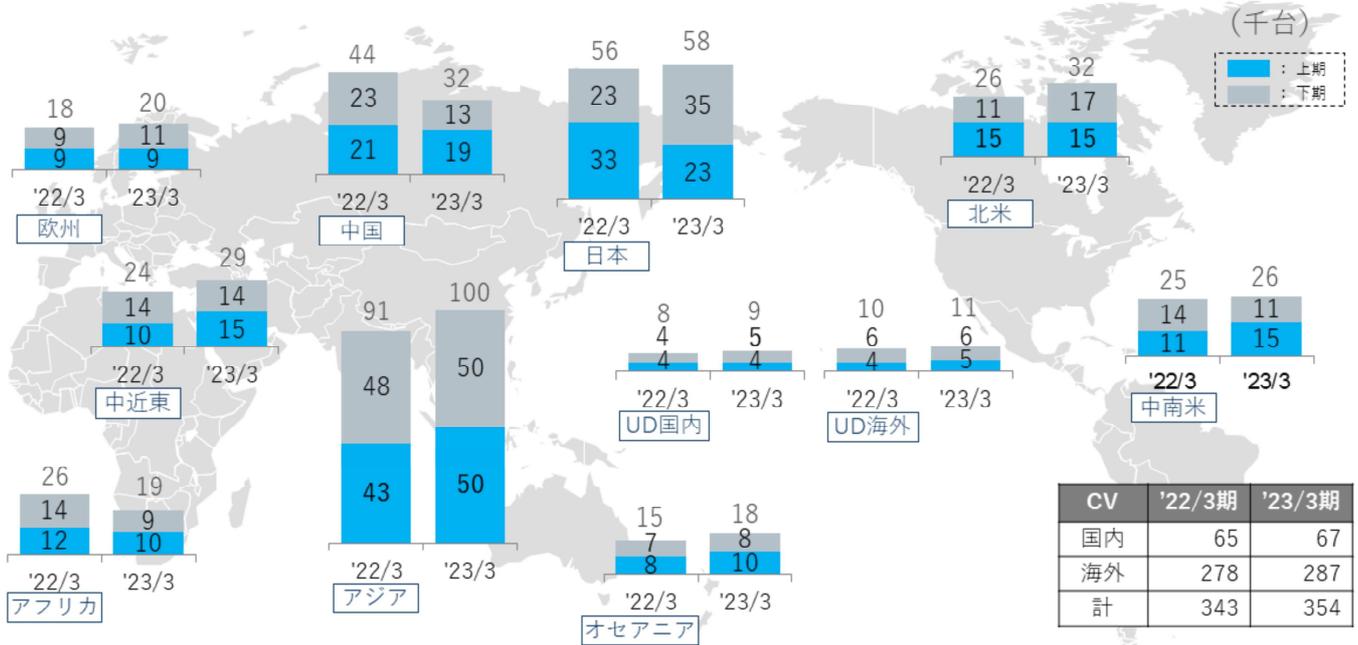
私からは以上です。

## 3. 2023年3月期 実績

続きまして、23年3月期実績及び24年3月期見通しにつきまして、私、山北よりご説明いたします。

# '23/3期 CVグローバル販売台数実績

■ '22/3期と比較して部品不足が改善したため、国内・海外共に増加



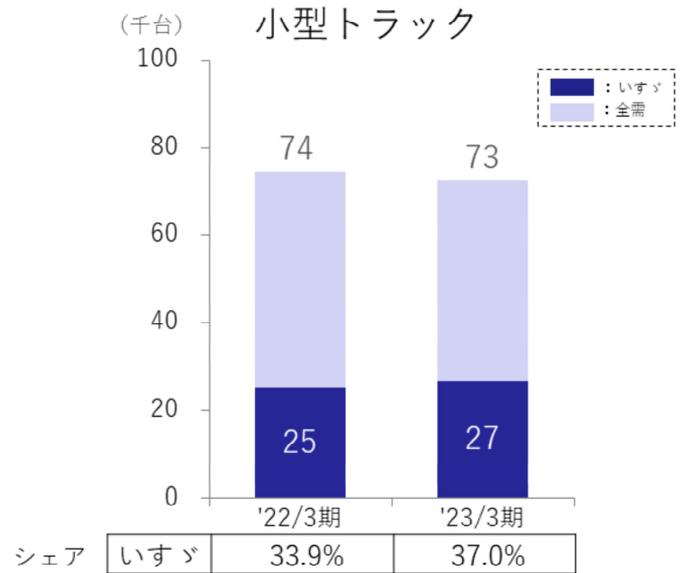
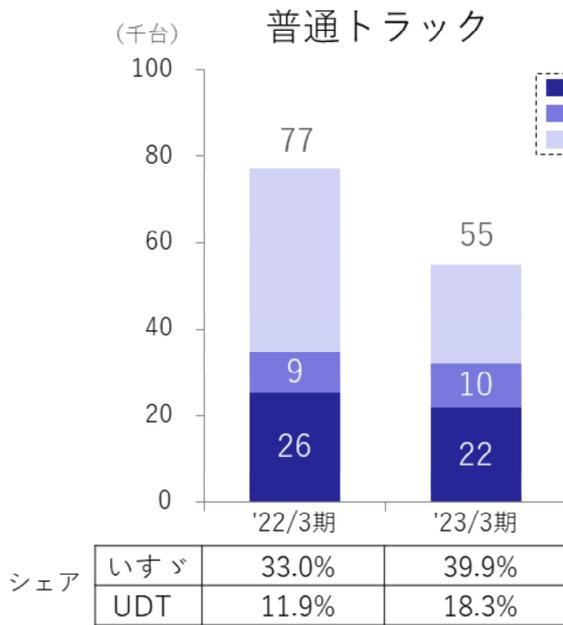
10 \*国内CV：国内卸売・直納、海外CV：北米/豪州は現地DB卸売、その他地域は日本出荷

23年3月期実績について、CVグローバル販売台数から説明いたします。

部品不足が改善したため、国内・海外ともに22年3月期を上回りました。

## '23/3期 国内全需・シェア実績 普通トラック/小型トラック

- 普トラ：販売台数は生産制約により'22/3期から減少も、シェアは他社影響によりいすゞ/UDT共に伸ばす
- 小トラ：生産制約が改善したことにより、販売台数・シェア共に増加



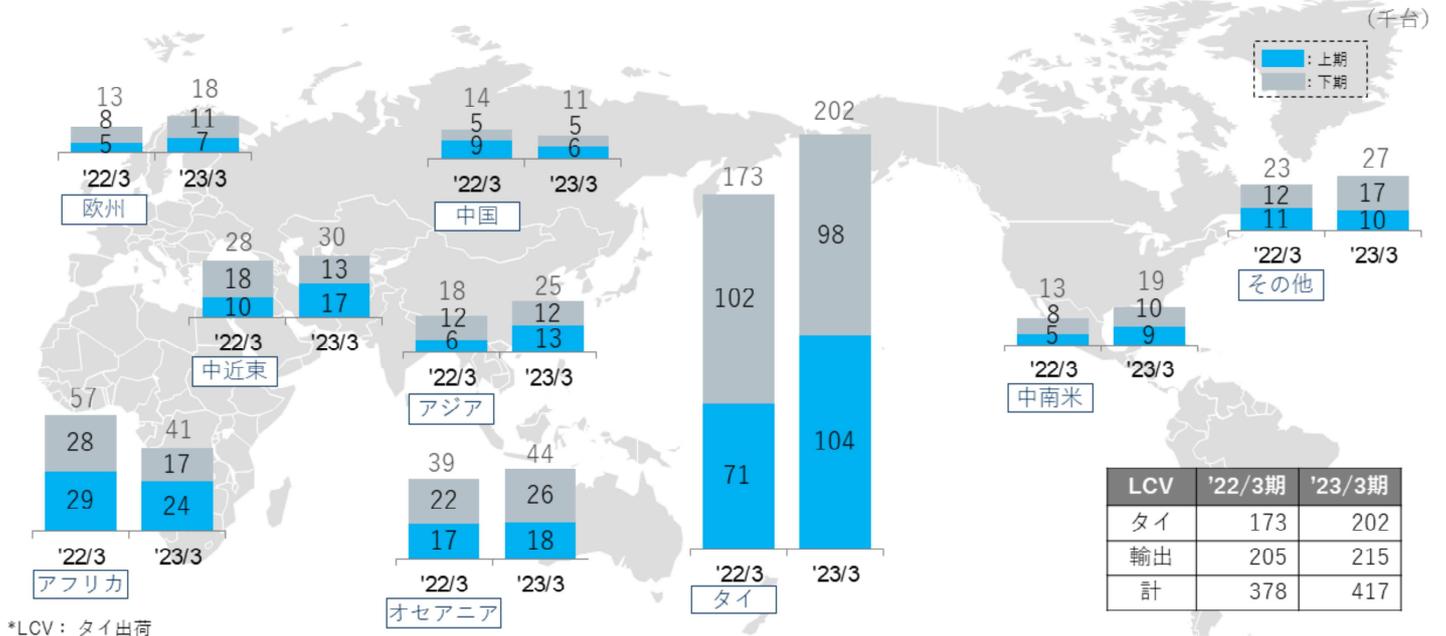
国内全需とシェア実績です。

普通トラックの全需は、他社影響もあり大きく減少しております。また、いすゞの販売は、生産制約により22年3月期から減少しました。シェアは、いすゞ・UDトラックスともに伸ばしています。

小型トラックは、生産制約が改善したことにより、販売台数・シェアともに増加しました。

# '23/3期 LCVグローバル販売台数実績

■ '22/3期と比較して部品不足が改善したことにより、タイ国内向け・輸出共に増加



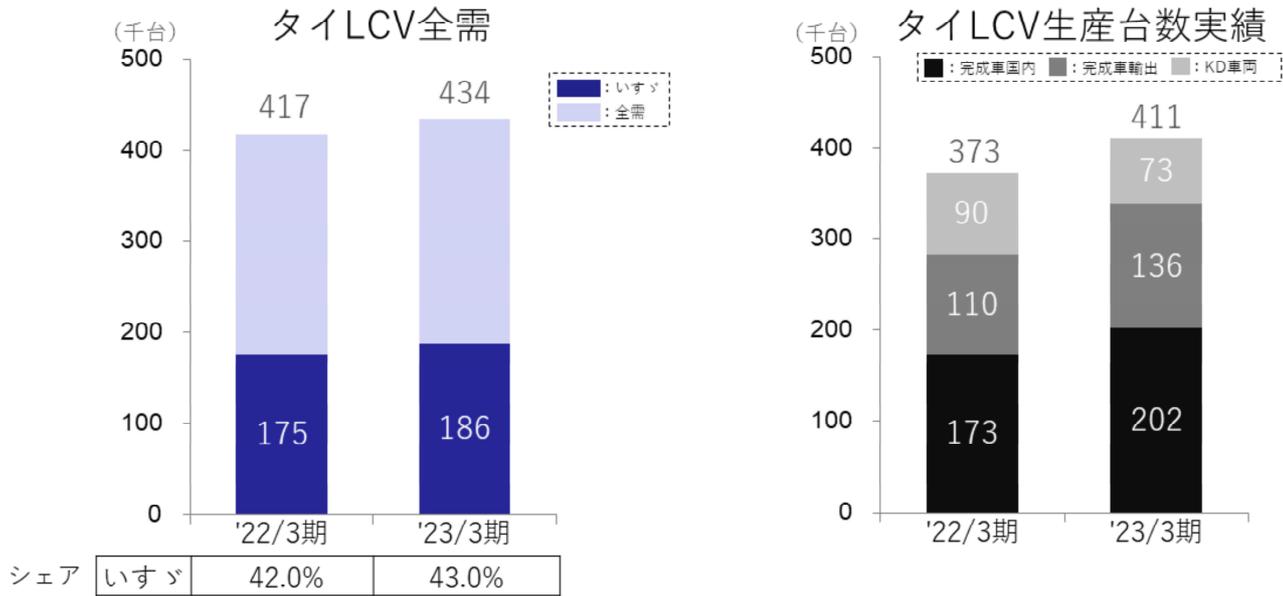
\*LCV：タイ出荷

LCVグローバル販売台数です。

22年3月期と比べて部品不足が改善したことにより、タイ国内向け・輸出向けともに増加しました。

## '23/3期 タイLCV全需・シェア/LCV生産台数実績

- 全需/シェア：全需は微増に留まるも、シェアは上昇
- 生産台数：部品不足が改善し、大幅に増加



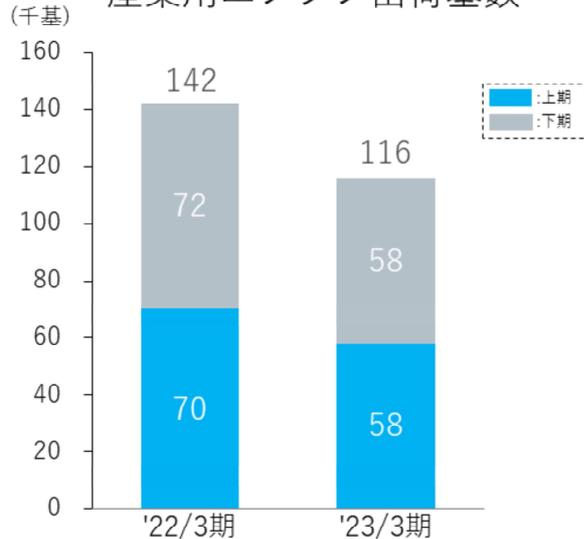
タイLCV全需・シェア、及びLCV生産台数実績です。

全需は22年3月期から微増に留まったものの、シェアは上昇しました。  
LCV生産台数は、部品不足が改善したことで、大幅に増加しました。

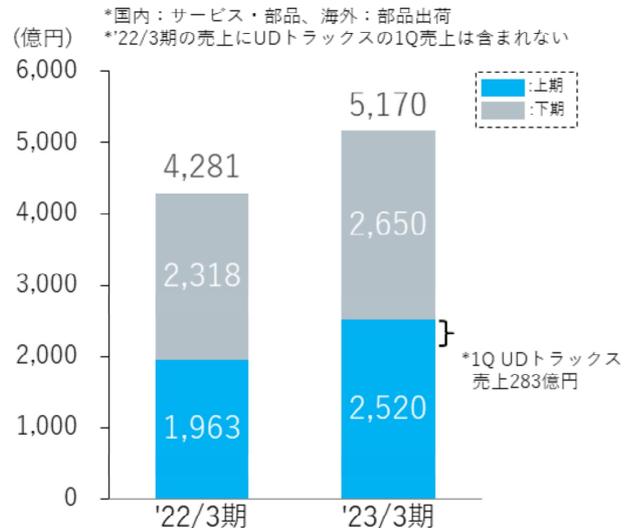
## '23/3期 産業用エンジン出荷/アフターセールス売上実績

- 産エン：中国における建機需要の減速・在庫調整、及び半導体不足により減少
- アフターセールス：国内・海外の順調な増加に加えて、為替効果もあり大幅に増収

### 産業用エンジン出荷基数



### アフターセールス



産業用エンジン、アフターセールスです。

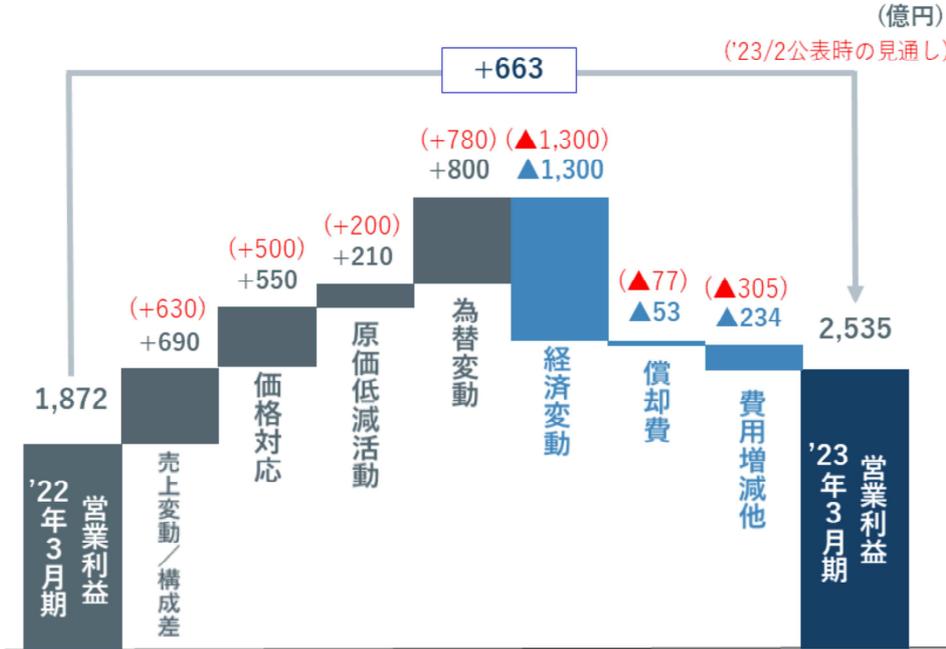
産業用エンジンの出荷基数は、中国における建機需要の減速・在庫調整、及び半導体不足により、22年3月期を下回りました。

アフターセールスの売上は、国内・海外共に順調に増加していることに加え、円安の為替効果もあり22年3月期から大幅に増収となりました。

なお、22年3月期の売上には、UDトラックの4月から6月の売上は含まれておりません。

'23/3期 営業利益増減分析 -前年同期比-

■ 資材費・物流費・エネルギーコストの高騰あるも、円安進行、VOL増加、価格対応、及び原価低減活動により増益



為替前提	'22/3期	'23/3期	2月公表時
USD/JPY	112.4円	135.5円	134.9円
THB/JPY	3.44円	3.84円	3.82円
AUD/JPY	83.1円	92.6円	92.5円

内訳	'23/3期	2月公表時
売上変動/構成差	+690	+630
国内CV	+70	+100
海外CV	+170	+100
LCV	+250	+270
その他	+200	+160
為替変動	+800	+780
USD	+410	+400
AUD	+75	+75
THB他	+315	+305
経済変動	▲1,300	▲1,300
資材費	▲1,070	▲1,070
物流費	▲200	▲200
電気・ガス他	▲30	▲30
費用増減他	▲234	▲305
開発費	▲142	▲152
労務費	▲60	▲88
一般経費他	▲32	▲65

続きまして、23年3月期の営業利益の増減分析です。

資材費、物流費、エネルギーコストは高騰したものの、円安の進行、販売台数の増加、価格対応及び原価低減活動により、663億円の増益となりました。

為替実績は表に記載した通りでございます。

また、2月に公表した見通しを赤字の括弧内に示しております。売上変動/構成差が60億円、価格対応が50億円上回った他、費用が71億円減少したこともあり、営業利益は235億円見通しを上回りました。

## '23/3期決算実績 - 前年同期比 -

ISUZU

(億円)	'23/3期	'22/3期	対前年比増減	
売上高	31,955	25,143	+6,812	+27%
営業利益	2,535	1,872	+663	+35%
経常利益	2,699	2,084	+615	+30%
当期利益*	1,517	1,262	+255	+20%

	'23/3	'22/3		'23/3	'22/3
営業利益	2,535	1,872	経常利益	2,699	2,084
持分法による投資損益	+58	+96	投資有価証券売却損益、固定資産売却損等	▲1	▲41
為替差損益	▲24	+58	法人税等	▲732	▲476
その他	+130	+58	非支配株主に帰属する当期純利益	▲449	▲305
経常利益	2,699	2,084	当期利益*	1,517	1,262

\*親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益以下の説明です。

経常利益は、営業利益2,535億円から持分法による投資損益、為替差損などを加減し、2,699億円となりました。

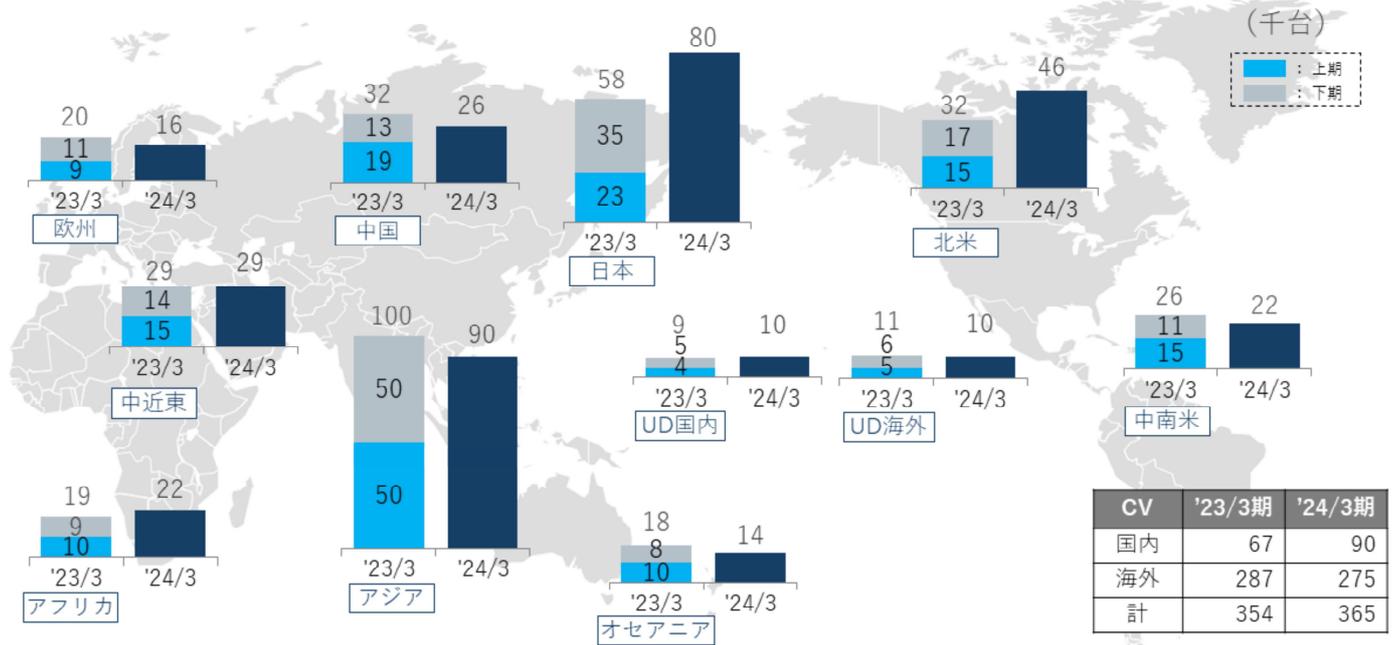
当期利益は、経常利益2,699億円から投資有価証券売却損益及び固定資産売却損益等、法人税等、及び非支配株主に帰属する当期純利益を加減し、1,517億円となりました。また、ロシアの連結子会社が保有する資産について、評価損17億円を特別損失として計上しております。

## 4. 2024年3月期 見通し

続きまして、24年3月期見通しについてご説明いたします。

# '24/3期 CVグローバル販売台数見通し

■ 金利上昇/インフレ影響によりアジアを中心に減少も、半導体不足の改善を見込む国内及び北米向けの増加により、先期を上回る販売台数を計画

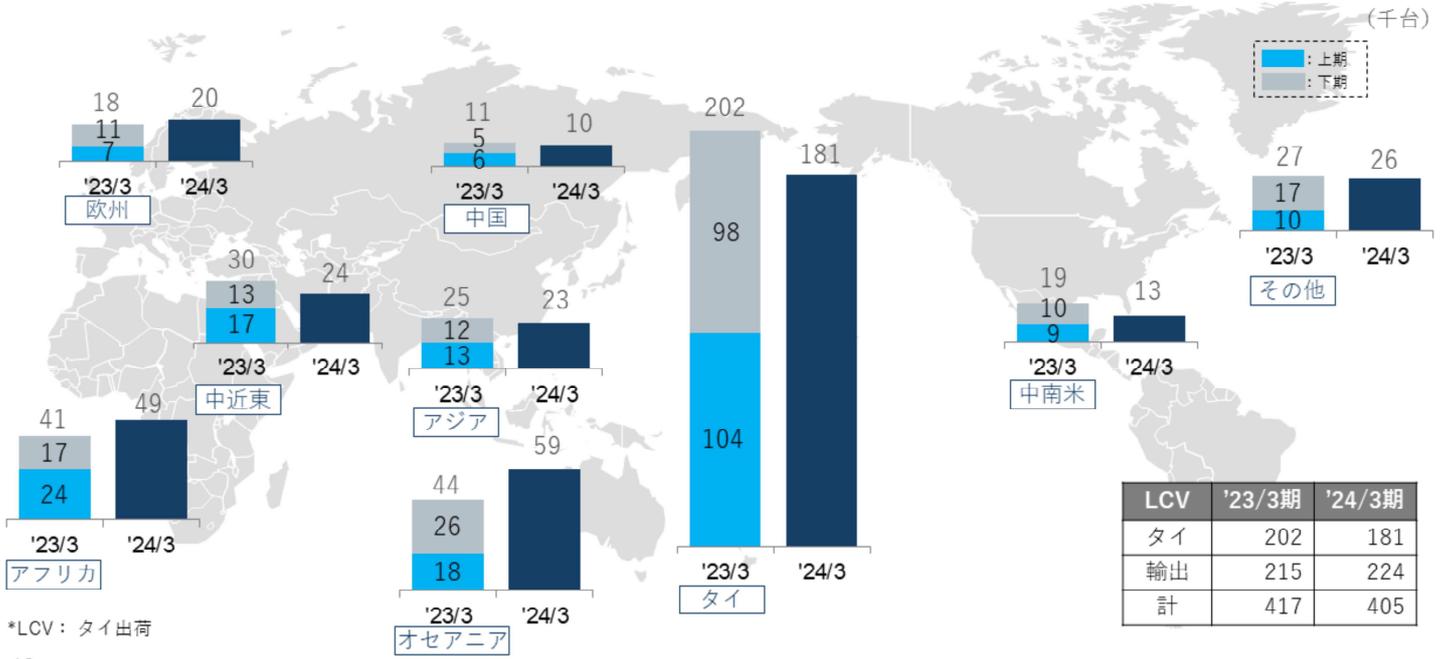


18 \*国内CV：国内卸売・直納、海外CV：北米/豪州は現地DB卸売、その他地域は日本出荷

CVグローバル販売台数は、金利上昇及びインフレ影響によりアジアを中心に減少を見込むものの、半導体不足の改善により国内及び北米向けで増加を見込んでおり、全体では先期を上回る販売台数を計画しています。

# '24/3期 LCVグローバル販売台数見通し

■ タイ国内の需要減を見込む一方、輸出は拡大。ただし部品不足の影響により、全体では減少。



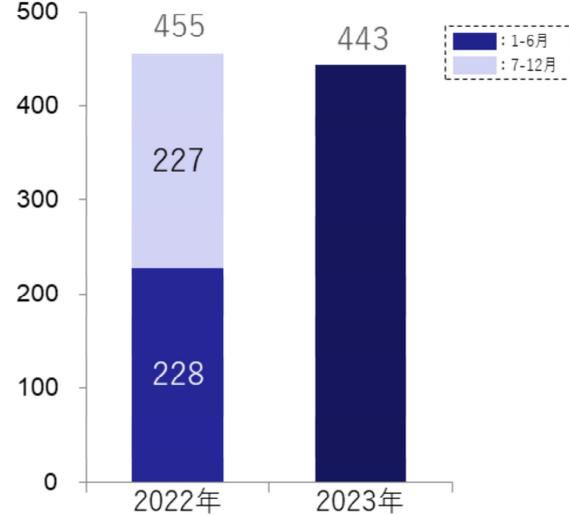
LCVグローバル販売台数です。

タイ国内向けは需要減を見込む一方、輸出向けは台数の拡大を目指します。  
 しかしながら、部品不足の影響により、全体では先期を下回る見通しです。

## '24/3期 タイLCV全需・シェア/LCV生産台数見通し

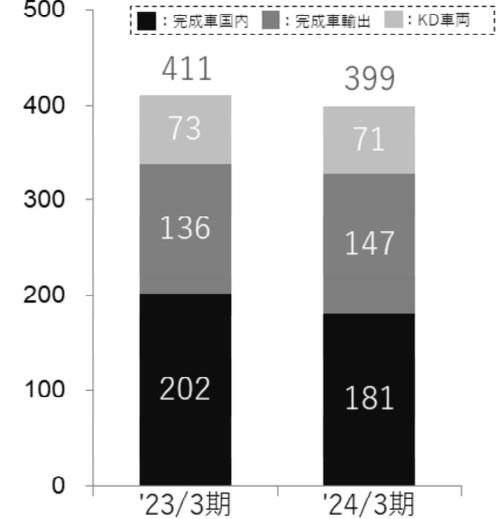
- 全需：ファイナンス環境の悪化により、前年を下回る
- 生産台数：タイ国内向けの需要減及び輸出向けの生産制約もあり、先期を下回る

タイLCV全需(1-12月)



シェア	いすゞ	43.1%	-
-----	-----	-------	---

タイLCV生産台数(4-3月)



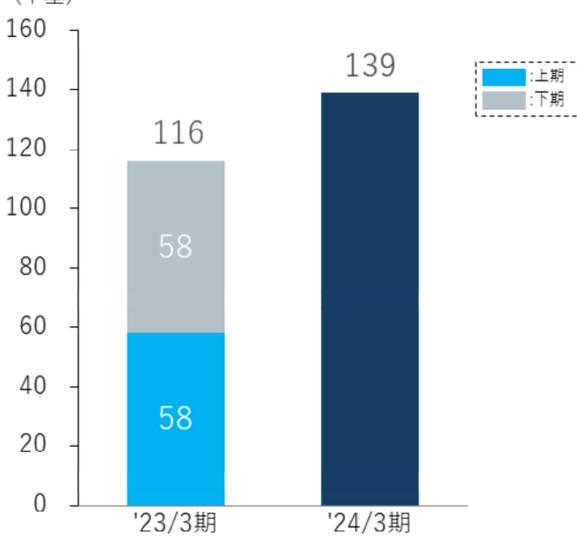
タイLCV全需及びLCV生産台数見通しです。

2023年のタイLCV全需は、ファイナンス環境の悪化により、前年を下回る見込みです。LCVの生産台数についても、タイ国内向けの需要減、及び輸出向けの生産制約により、先期を下回る見込みです。

## '24/3期 産業用エンジン出荷/アフターセールス売上見通し

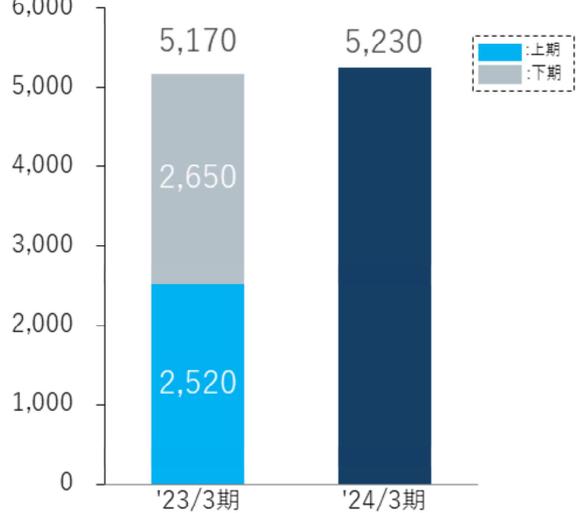
- 産エン：中国における在庫調整一巡及び半導体不足の改善により、先期を上回る出荷を見込む
- アフターセールス：国内・海外共に更なる増収を見込む

産業用エンジン出荷基数



アフターセールス

\*国内：サービス・部品、海外：部品出荷



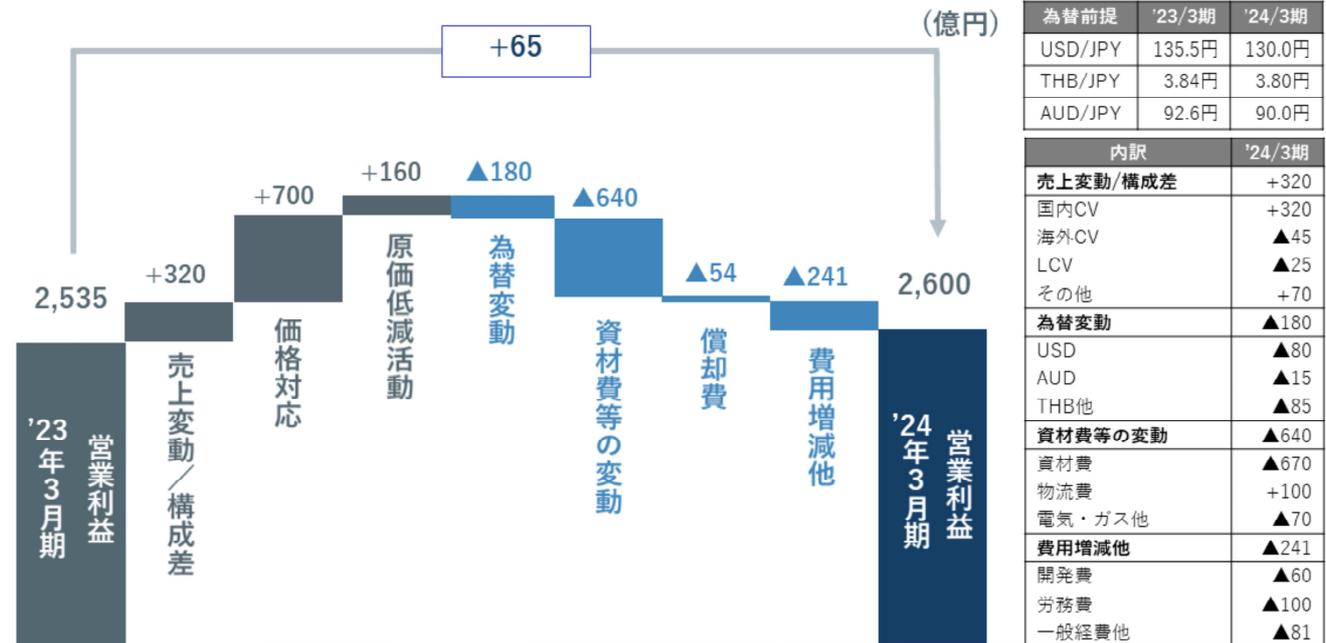
産業用エンジン、アフターセールスです。

産業用エンジン出荷基数は、中国で在庫調整が一巡することに加え、半導体不足が改善することもあり、先期を上回る出荷基数を見込みます。

アフターセールス売上は、先期は新車供給が不足する中で部品需要が大きく増えたのに対して、今期は新車供給が回復するため一定の需要減を見込みますが、国内・海外共に成長させることで、更なる増収を見込みます。

## '24/3期 営業利益見通し 増減分析 -前年同期比-

■ 資材費・エネルギーコストの上昇あるも、VOLMIX改善、価格対応の追加、原価低減活動の推進により増益を目指す。



22

※'24/3期より、「経済変動」から「資材費等の変動」に表記を変更

Copyright(C) 2023 Isuzu Motors Limited All rights reserved

続きまして、24年3月期営業利益見通しの増減分析です。

資材費・エネルギーコストの上昇を見込むものの、VOL MIXの改善、価格対応の追加、原価低減活動の推進により増益を目指します。

為替前提は、USドル130円、タイバーツ3.8円、オーストラリアドル90円に設定しております。

なお、今回より、従来の「経済変動」に該当する項目を、「資材費等の変動」として記載しておりますが、内容に変更はございません。

'24/3期決算見通し - 前年同期比 -

(億円)	'24/3期	'23/3期	対前年比増減	
売上高	33,000	31,955	+1,045	+3%
営業利益	2,600	2,535	+65	+3%
経常利益	2,750	2,699	+51	+2%
当期利益*	1,550	1,517	+33	+2%

	'24/3	'23/3		'24/3	'23/3
営業利益	2,600	2,535	経常利益	2,750	2,699
持分法による投資損益	+75	+58	投資有価証券売却損益、固定資産売却損等	▲30	▲1
為替差損益	±0	▲24	法人税等	▲740	▲732
その他	+75	+130	非支配株主に帰属する当期純利益	▲430	▲449
経常利益	2,750	2,699	当期利益*	1,550	1,517

\*親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益以下の増減は、記載の通りでございます。

以上をもちまして、いすゞ自動車2023年3月期 決算説明を終了いたします。ご清聴いただき、有難うございました。

地球の「運ぶ」を創造する

**ISUZU**

【付表】主要事業指標推移等

